

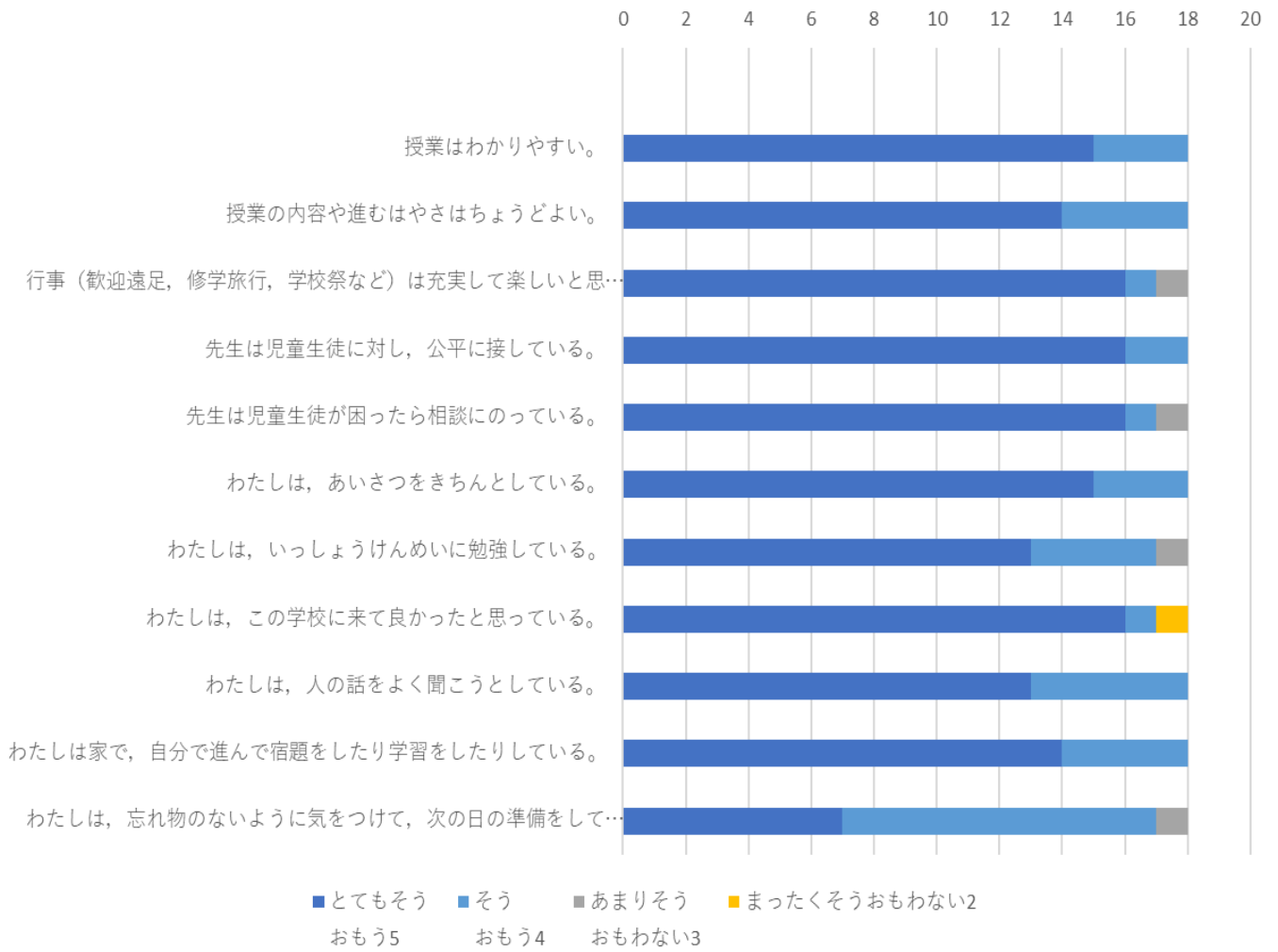
令和4年度（2022）の学校評価集計結果から次年度に向けて

学校評価として、児童生徒のアンケート結果、保護者のアンケート結果、そして更に保護者の記載した内容を公表すると共に、学校の考えを発表します。

（1）児童生徒の集計結果から

令和4年度 学校評価 児童生徒 アンケート集計結果		2022.12. ベルリン日本人国際学校				
	質問	とてもそう おもう5	そう おもう4	あまりそう おもわない3	まったくそう おもわない2	白紙1
1	授業はわかりやすい。	15	3	0	0	0
2	授業の内容や進むはやさはちょうどよい。	14	4	0	0	0
3	行事（歓迎遠足、修学旅行、学校祭など）は充実して楽しいと思う。	16	1	1	0	0
4	先生は児童生徒に対し、公平に接している。	16	2	0	0	0
5	先生は児童生徒が困ったら相談にのっている。	16	1	1	0	0
6	わたしは、あいさつをきちんとしている。	15	3	0	0	0
7	わたしは、いっしょうけんめいに勉強している。	13	4	1	0	0
8	わたしは、この学校に来て良かったと思っている。	16	1	0	1	0
9	わたしは、人の話をよく聞こうとしている。	13	5	0	0	0
10	わたしは家で、自分で進んで宿題をしたり学習をしたりしている。	14	4	0	0	0
11	わたしは、忘れ物のないように気をつけて、次の日の準備をしている。	7	10	1	0	0

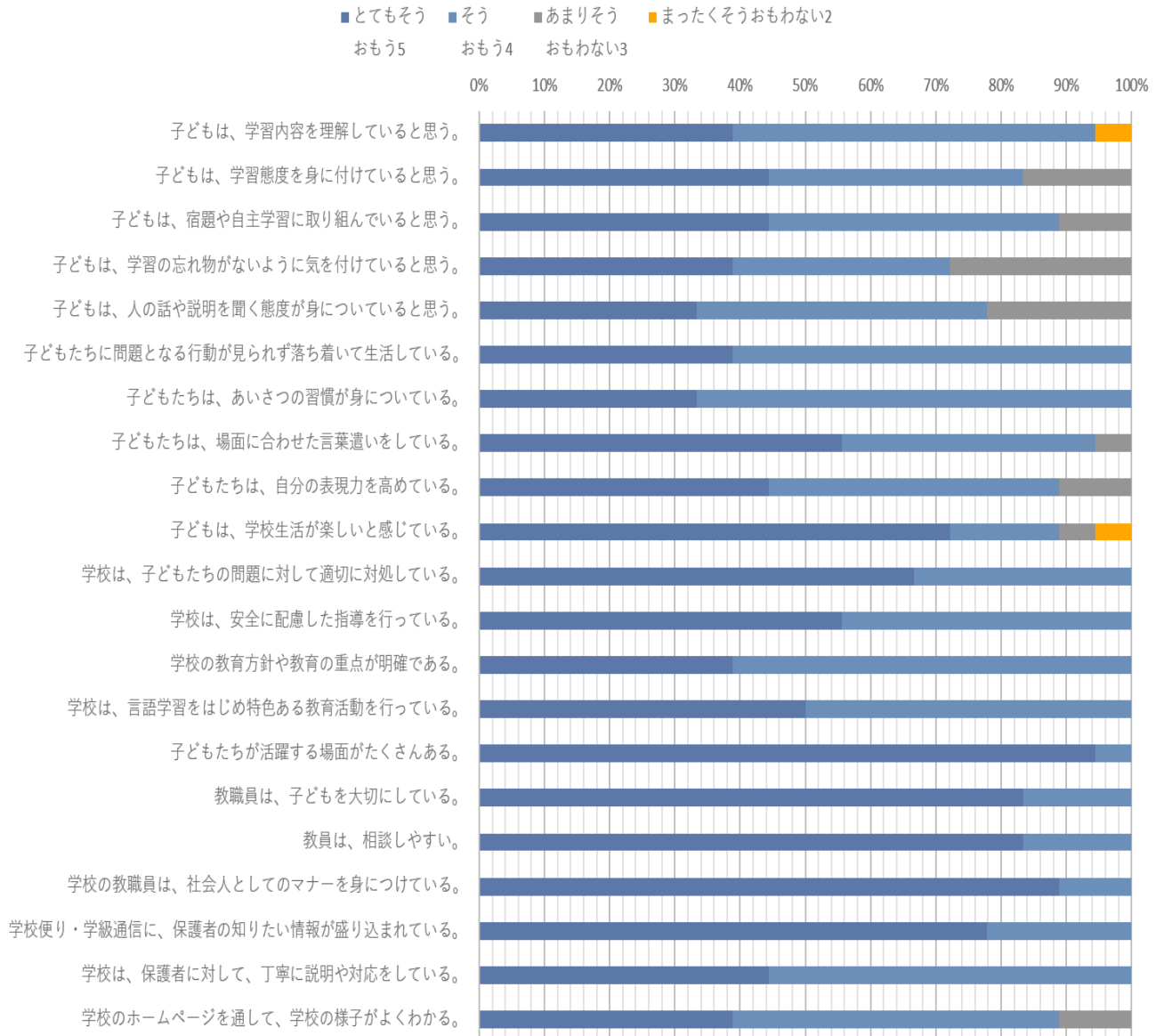
令和4年度児童アンケート



(2) 保護者の集計結果から

令和4年度 学校評価 保護者 アンケート集計結果		2022.12. ベルリン日本人国際学校					
	質問	とてもそう おもう5	そう おもう4	あまりそう おもわない3	まったくそう おもわない2	無回答1	
学習	1	子どもは、学習内容を理解していると思う。	7	10	0	1	0
	2	子どもは、学習態度を身に付けていると思う。	8	7	3	0	0
	3	子どもは、宿題や自主学習に取り組んでいると思う。	8	8	2	0	0
	4	子どもは、学習の忘れ物がないように気を付けていると思う。	7	6	5	0	0
	5	子どもは、人の話や説明を聞く態度が身についていると思う。	6	8	4	0	0
生活	6	子どもたちに問題となる行動が見られず落ち着いて生活している。	7	11	0	0	0
	7	子どもたちは、あいさつの習慣が身についている。	6	12	0	0	0
	8	子どもたちは、場面に合わせた言葉遣いをしている。	10	7	1	0	0
	9	子どもたちは、自分の表現力を高めている。	8	8	2	0	0
	10	子どもは、学校生活が楽しいと感じている。	13	3	1	1	0
学校 運 営・ その 他	11	学校は、子どもたちの問題に対して適切に対処している。	12	6	0	0	0
	12	学校は、安全に配慮した指導を行っている。	10	8	0	0	0
	13	学校の教育方針や教育の重点が明確である。	7	11	0	0	0
	14	学校は、言語学習をはじめ特色ある教育活動を行っている。	9	9	0	0	0
	15	子どもたちが活躍する場面がたくさんある。	17	1	0	0	0
	16	教職員は、子どもを大切にしている。	15	3	0	0	0
	17	教員は、相談しやすい。	15	3	0	0	0
	18	学校の教職員は、社会人としてのマナーを身につけている。	16	2	0	0	0
	19	学校便り・学級通信に、保護者の知りたい情報が盛り込まれている。	14	4	0	0	0
	20	学校は、保護者に対して、丁寧に説明や対応をしている。	8	10	0	0	0
	21	学校のホームページを通して、学校の様子がよくわかる。	7	9	2	0	0

令和4年度保護者アンケート



(3) 保護者の記載内容から

◎児童生徒アンケートの集計結果から

- ・今年度のアンケート結果をみると、前年度課題であった「4：先生は児童生徒に対し、公平に接している。」が改善されました。
- ・「1：授業はわかりやすい。」「2：授業の内容や進むはやさはちょうどよい。」についても昨年同様に良い評価でした。これからも、「わかる・できる・いかす」授業の充実に向け教職員一丸となって取り組んでいきます。

■「8：わたしは、この学校に来て良かったと思っている。」と感じていない子がいました。

◆児童生徒に「この学校に来て良かった。」と思ってもらえなかった学校の力不足を反省します。

◎保護者アンケートの集計結果から

- ・今回の結果から、気になる点について、今後改善する方向性や考え方をお知らせします。

■「1：子どもは、学習内容を理解していると思う。」まったくそう思わないとの意見がありました。

◆児童生徒の学習状況や習熟状況は、個々それぞれに特徴があります。その特徴を捉えて、個に応じた指導にこれからも努めていきたいと考えています。

本校としては、これからも確かな学力の向上・定着を図る「わかる・できる・いかす」授業改善の推進に努めていきたいと考えています。

■「2：子どもは、学習態度を身に付けていると思う。」あまりそう思わないとの意見がありました。

◆学習態度の一面として、学習規律があります。本校として、子供が社会の一員として守らなければならないきまりや行動の仕方を身に付け、時と場に応じて自ら行動し、責任のある態度がとれるようにする力を育てようと取り組んでいます。そのためには、他者を尊重しその人の気持ちに配慮する、共感する、そして、相手を落とす侮蔑的発言はしないなど、尊敬という価値観を大切にすることを、学校と家庭が手を携えて育んでいきたいと考えています。

これからも、「言葉を整えることは、心と行動を変え、良い習慣をつくる。」と考え、温かく支えあう言葉を大切に教育活動を推進していきます。

■「4：子どもは、学習の忘れ物がないように気を付けていると思う。」あまりそう思わないとの意見がありました。

◆学校行事等で特別に必要な物は、学級通信でお知らせするなど各学級では忘れ物をしないように様々な取り組みを行っています。しかし、学校でいくら取り組んでも、実行する場は家庭です。忘れ物をなくすことは、学校の永遠のテーマですが、学校と保護者と心をつなげて取り組んでいくことが重要であると思います。

■「5：子どもは、人の話や説明を聞く態度が身についていると思う。」あまりそう思わないとの意見がありました。

◆本校では、傾聴する力を育てていきたいと考えています。傾聴する力とは、相手の話を理解するだけでなく、表情や仕草から相手の気持ちを読み解き、寄り添う事ができる力です。

そして、「なぜこの人はこう言ったんだろう」「自分は何をすればいいのか」といった具合に、聞いた話を自分の中で理解するため思考力も身に付けることが出来ます。聞く態度が身につくためには、相手を敬う態度を育てることも重要です。ご家庭でも、相手を敬いながら、傾聴する力を育てるためにご協力をお願いいたします。

■「10：子どもは、学校生活が楽しいと感じている。」あまりそう思わない、まったくそう思わないという意見がありました。

◆児童生徒に「学校生活が楽しい。」と感じてもらえるように努力していきます。

◎保護者の記載内容から

【学校行事の実施について】

■理科、総合、学活どの時間でもかまわないと思いますが、ヴァンゼーはせっかく自然豊かな素晴らしい環境だったので、もっと校外へ出て、季節を観察・感じる学びがあっても良かったのではないかと思います。

●ゲネプロ見学は、とても貴重な体験ができたと感激しておりました。ベルリンならではの体験（ベルリンマラソン、ベルリンフィルのゲネプロ見学、オペラワークショップなど）をさせていただけるとは、とてもありがたいです。

・あたたかいお言葉ありがとうございます。今年度は、コロナの規制が緩和され、ベルリンにいるからこそ体験できる学校行事や体験学習を実施してきました。オペラワークショップ後のクリスマスマーケット体験も実施する事ができました。

ここドイツは、諸外国の中で比較的治安が良い国ですが、やはり日本とは状況が異なります。在ドイツ日本国大使館の助言を受け、子供たちの安心・安全を最大限に確保しながら、これからも体験の場や機会を考えて行きたいと思います。

【職場体験について】

■ベルリンでは難しいのかもしれませんが、日本の中学生が経験するような「職場体験」のような時間があると良いのになと考えます。職場体験が難しいのであれば、せっかく保護者が日本では滅多に出会えないような珍しいお仕事をされている方が多くいらっしゃるのでは、その方々の話を聞ける機会があればよいと思います。中学生は、自分の進路について意識し始める頃なので、海外の日本人学校だからこそ色々な人の話を聞くことで、子供の世界観が広がることは間違いなくと思います。

◆貴重なご意見ありがとうございます。今年度は、修学旅行の年に当たるため、修学旅行の中で企業見学を取り入れ、キャリア教育を実施いたしました。修学旅行に当たらない年度では、保護者の方や大使館の方からの講話をいただいています。また、ベルリンにある企業にお願いして、職業体験を実施しています。これからも本校としては、保護者の皆様、在ドイツ日本国大使館、ベルリン日独センター、ベルリン日本商工会等にも企業見学や講師依頼などについて相談しながら、「先輩に学ぶ」というような機会を実施したいと考えています。

【その他】

■「編入学に際して準備していただきたい物」にレジャーシートを追加してはどうでしょうか？編入してすぐに歓迎遠足が必要でしたが、我が家には日本から持ってこなかったのが、代用品を探すのに苦労しました。

◆貴重なご意見ありがとうございます。すぐに、ホームページの準備物の内容に追加いたしました。

■全学年の学級通信を掲示板に貼る（見守りやお迎えの時に保護者が読める）というのはどうでしょう。他の学年はどんな様子なのか知れるともっと学校を身近に感じられるような気がします。

◆玄関正面の壁に掲示しましたので、ご覧下さい。

■挨拶については、少しずつ本人なりに努力してするようにがんばっている様子です。人の目を見て話したり聞いたりするのが相変わらず苦手なように見える。

■いつも大変お世話になっております。この学校の良いところは、少人数校であるからこそできることをうまく使って実施してくれることだと思います。生徒みんなが仲良く折り合いながら、誰も一人にならずに力を合わせています。また、先生方も生徒一人一人をしっかりと見て支えて伸ばして下さっています。感謝しています。

◆あたたかいお言葉ありがとうございます。本校は、小規模校だからこそ、異学年交流など様々な場面で子供たち同士の関わり合いがあります。友達や先輩後輩との関わりを通して、日常生活の中で実践しながら規範意識、優しさや他者を尊重する心、感動する感性や感謝の心を学んで行くことはとても大切なことだと考えています。